

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

座間味村阿嘉島、慶留間島での松くい虫防除啓発活動

令和8年3月6日(木)

県内各地で松くい虫被害が顕著となる中、被害未発生地域である座間味村において、松くい虫を侵入させないための対策の重要性と、松枯れを発見した際の連絡方法について、座間味村（産業振興課）、阿嘉区長、慶留間区長と意見交換を実施した。

はじめに、普及員から、座間味村のリュウキュウマツの資源量が他の地域と比べても多く重要な森林資源であること、一度松くい虫被害が発生すると根絶することが困難になること、そのためには、松くい虫を侵入させないことが最重要課題であること、そして早期発見の重要性について、近年新たに被害が発生した事例を紹介しながら説明した。

阿嘉区、慶留間区には名所となるようなマツはないものの、昔から鰹節を作る際の薪として利用されその後マツが植林されてきた歴史がありマツは身近にあるという話や、マツにつく虫の話、気になる赤枯れのマツの情報等を教えてもらった。また、各区において普及啓発用ポスターの掲示について協力いただけることとなった。さらに、枯れマツを発見した際に区長から村に連絡することについても理解をいただいた。

松くい虫被害を発生させないために、今後も関係者に対して対策の重要性等を引き続き普及していく。



意見交換



枯れマツの現地確認

(報告者：南部林業事務所 眞鍋・新垣・玉城)